

## 「中央大学英語プレゼンテーション大会」開催決定！

学生による英語プレゼンテーション大会を、2015年10月に開催することが決定しました。テーマは「アジアそして世界の未来を創る『協働プロジェクト』」。3～5名で構成した学生チームが1チーム10分の持ち時間のなか、若者らしい柔軟な発想で英語のプレゼンテーションを行います。自分たちのアイデアをどう伝えるか、内容だけでなく構成、表現方法は各チームの工夫次第です。

本企画は学内コンペティションを兼ねており、優勝チームは同年11月に開催されるイベント『グローバル人材育成フォーラム』の第二部「学生による英語プレゼンテーション」に、本学代表チームとしてエントリーする権

利を得ます。主催は文部科学省『経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 (Go Global Japan)』に採択された、東日本の大学18校（東日本第2ブロック）です。

昨年、学内で開催した英語プレゼンテーション大会では、「開発と貧困」をテーマに7チームが発表しました。優勝は経済学部生と理工学部生の混成チームで、新代替エネルギーによる貧困解決策の提案が行われました。本学代表チームとしてエントリーした『グローバル人材育成フォーラム』では、予選を見事に通過し、本選でもおおいに健闘しました。

今後、本年の詳細について本学Webサイト等でお知らせします。

## グローバル人材育成シンポジウムを開催



2015年3月12日(木)、TKPガーデンシティ竹橋にてグローバル人材育成シンポジウムが開催されました。

テーマを「日本を見つめ直し、世界に伝えるグローバル人材」として、主催した中央大学とともに、千葉大学、北海道大学、武蔵野美術大学の4大学が集い、各大学における文部科学省の『経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援』による海外派遣留学プログラム「SEND (Student Exchange - Nippon Discovery)」の取り組みについて、担当教員とプログラムに参加した学生が発表しました。開催にあたり、公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長の赤阪清隆氏による基調講演も行われ、シンポジウムの様子はUstreamでライブ配信されました。

SENDの特徴は、日本の学生が、留学先で日本語の指導や日本文化の紹介活動を行うところにあります。普段使っている日本語を

他国の人に教えること、世界的に評価されることの多い日本の芸術や科学技術を、イメージではなく正しい姿で他国の人に伝えることは、留学する学生がそれを真に理解して初めてできることです。同時に、それはグローバル人材に求められる重要な資質の一つでもあります。このシンポジウムでは、さまざまな分野でSENDを準備、実践する4つの大学の取り組みの成果を報告しました。



本学からは若林茂則文学部教授が登壇